

2022 年度
保健医療学部看護学科
入学生アンケート結果

実施日時：2022 年 4 月 4 日（月）

実施場所：6403 講義室

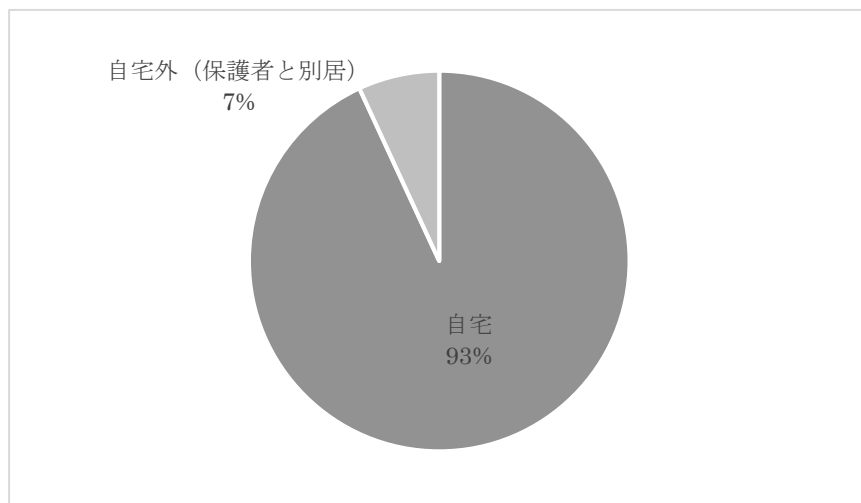
対象人数：2022 年度保健医療学部看護学科入学生 87 名

回収数（率）：87 名（100%）

【集計結果】

3 住居

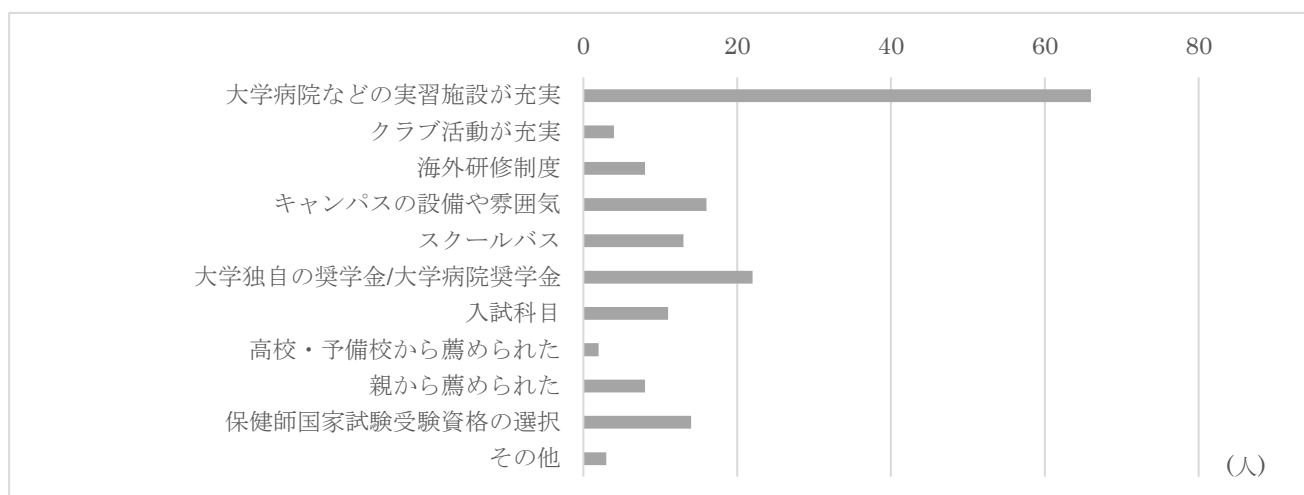
自宅	自宅外	計
81	6	87
93%	7%	100%



4 朝日大学への入学を決めた理由は何ですか。2 つまで選んでください。

大学病院などの 実習施設が充実	クラブ活動が充 実	海外研修制度	キャンパスの設 備や雰囲気	スクールバス	大学独自の奨学 金/大学病院奨 学金
66	4	8	16	13	22
76%	5%	9%	18%	15%	25%

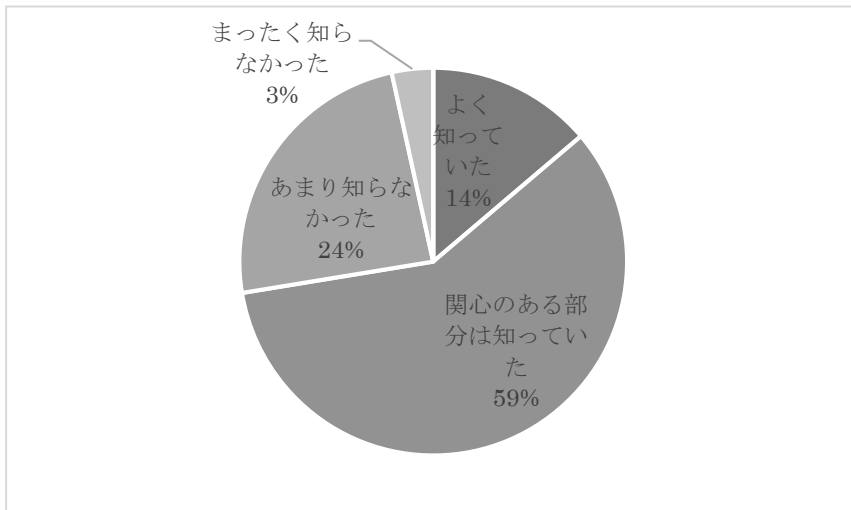
入試科目	高校・予備校から 薦められた	親から薦められた	保健師国家試験受験 資格の選択	その他
11	2	8	14	3
13%	2%	9%	16%	3%



その他：姉が通っている（1）。法学部在籍中に就職支援課に進められたから（1）。

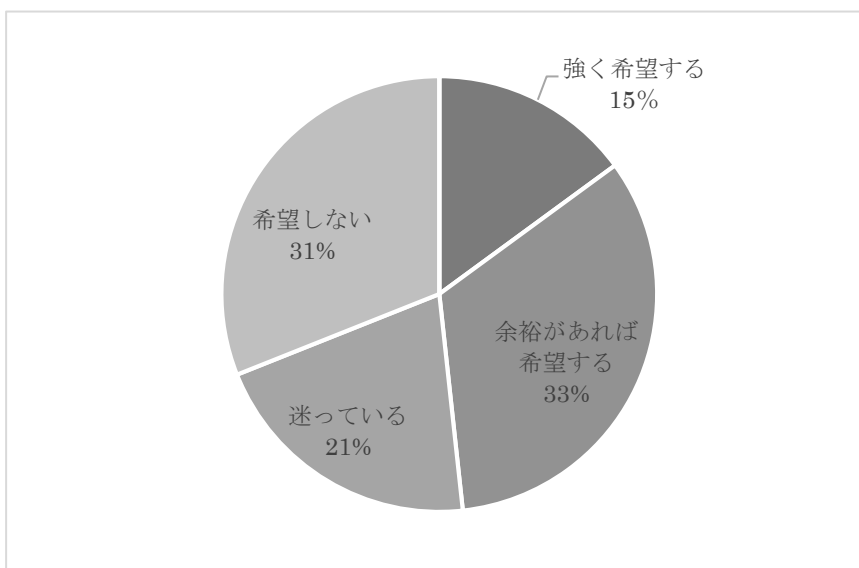
5 看護学科の教育内容について入学前から知っていましたか。

よく知っていた	関心のある部分は知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	計
12	51	21	3	87
14%	59%	24%	3%	100%



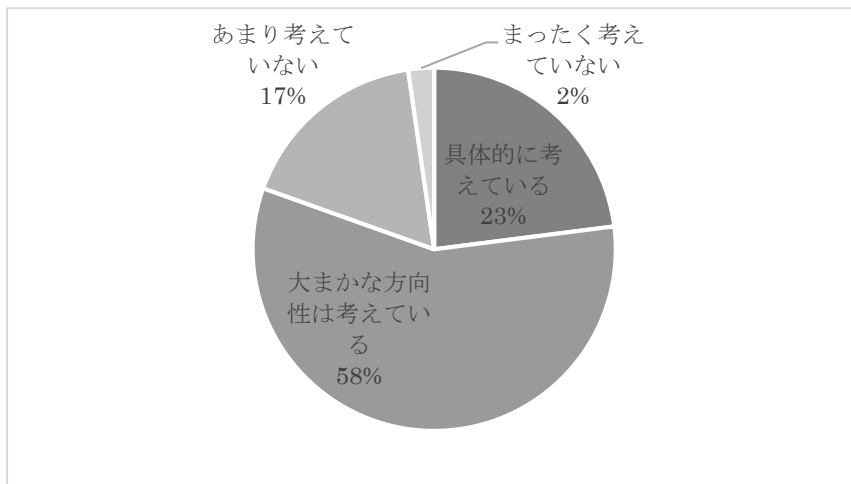
6 保健師課程の選択は希望していますか

強く希望する	余裕があれば希望	迷っている	希望しない	計
13	29	18	27	87
15%	33%	21%	31%	100%



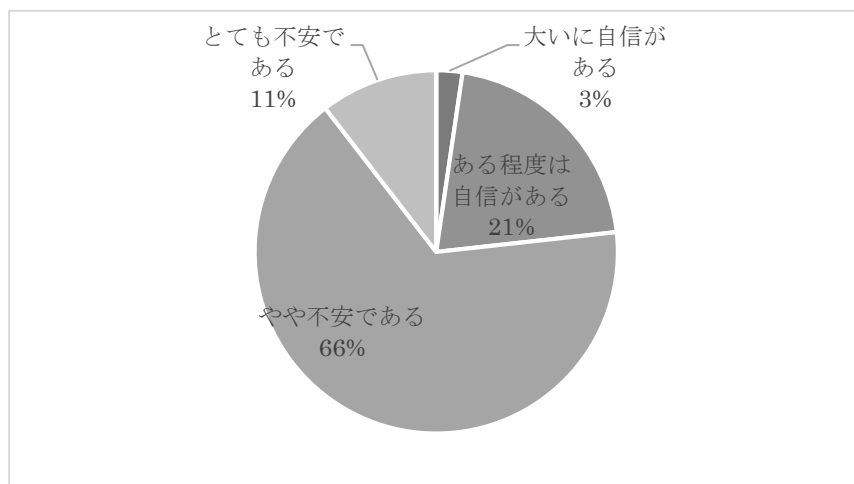
7 卒業後の希望進路（就職、助産師学校等への進学）は考えていますか。

具体的に考えている	大まかな方向は考えている	あまり考えていない	まったく考えていない	計
20	50	15	2	87
23%	58%	17%	2%	100%



8 看護学科での学修について自信はありますか

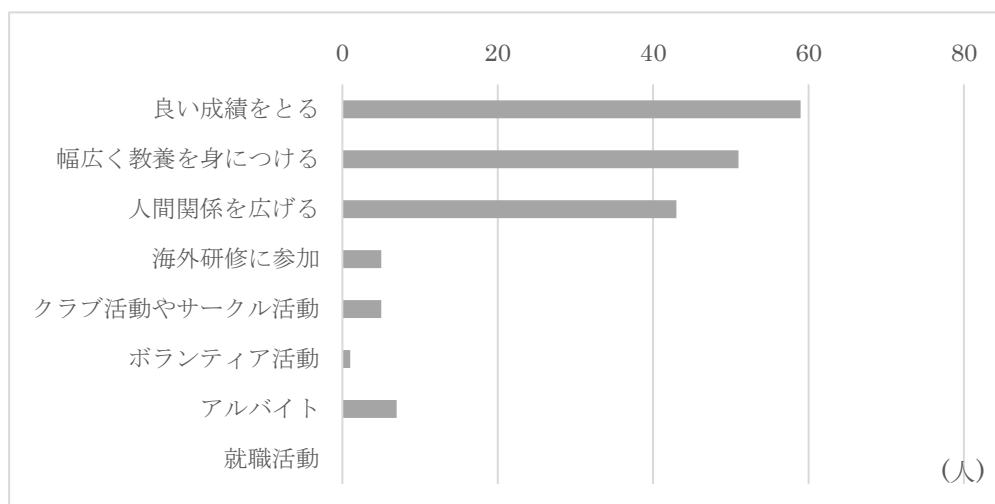
大いに自信がある	ある程度は自信がある	やや不安である	とても不安である	計
2	18	58	9	87
3%	21%	67%	10%	100%



9 大学生活で特に力を入れていきたいものは何ですか（2つまで）。

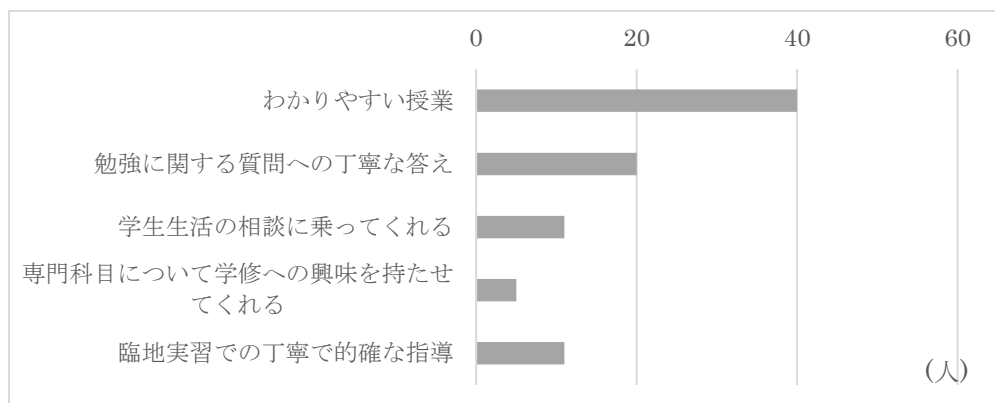
よい成績を取る こと	幅広く教養を身 につけること	人間関係を広げ ること	海外研修に参加 すること	クラブ活動やサ ークル活動	ボランティア活 動
59	51	43	5	5	1
68%	59%	49%	6%	6%	1%

アルバイト	就職活動	その他
7	0	0
8%	0%	0%



10 教員に特に期待することは何ですか。（今年度はシステム上1つのみ選択）

わかりやすい授業	勉強に関する質問 への丁寧な答え	学生生活の相談 に乗ってくれる	専門科目について 学修への興味を持 たせてくれる	臨地実習での丁寧 で的確な指導	その他
40	20	11	5	11	0
46%	23%	13%	6%	13%	0%



【学生生活について感じていることや要望（自由記述）】

学修について

- ・勉強が不安です。
- ・実習先はどのように決められるのか、基礎実習は基本朝日大学なのかが知りたいです。
- ・良い成績が取れるよう頑張りたい。
- ・勉学に励みたいです。
- ・選択授業選んでない期間の選択授業どうしたらいいかわからないから説明が欲しいです。
- ・自分がちゃんと授業についていけるか心配です
- ・授業についていけるか不安
- ・もうほんとにとにかく、勉強ついていけるか心配です。置いていかれそう(泣)
- ・学習についていけるか不安です。
- ・シラバスに書かれている参考書は買うべきなのかを教えていただきたいです
- ・レポートが心配です
- ・これからの学修と実習を頑張りたい
- ・90分の授業でしっかり聞き忘れなく知識としてできるかが不安です。
- ・勉学に真剣に励めるように頑張っていきたいと思っています。
- ・周りの子に差を付けないように自宅で自習の時間を設けるようにしていきます。

友人について

- ・思ったより男子多くてホッとしている。
- ・友達が出来てよかった。
- ・みんなとうまく関われるのかが不安
- ・多くの学生とたくさん関われるからとても楽しいです。
- ・友達ができるか不安

大学環境について

- ・キャンパス内の場所がまだ分かっていないので、早く位置を理解して移動をスムーズに行えるようにしたいです。
- ・設備が充実していて生活しやすいです。
- ・いつぐらいから部活動の見学ができるか気になります。
- ・キャンパスが広くてまよってしまう。
- ・キャンパスが広くて迷ってしまう
- ・早く慣れるように頑張ります
- ・場所を早く覚えれるようにしたいです。
- ・スクールバスが混雑しているので遅刻しないか不安。

大学生活への思いや決意など

- ・4年間頑張ります

- ・初めての1人暮らしに初めての大学で色々大変なのでひとつずつゆっくり教えていただきたいです。
- ・これから楽しく学生生活を送れるといいなと思っている
- ・色々なことが不安で心配だけど頑張りたいです！
- ・楽しい気持ちと勉強についていけるかの不安な気持ちもあるので自分なりに不安がなくなるように頑張りたいです。
- ・楽しい大学生活を送っていきたいです。
- ・看護は厳しいと聞きますが、一人暮らしをしているため、勉強と家事の両立ができるかとても不安です。
- ・とても充実した大学生活を送れそう。
- ・大学生活が上手くいくか不安
- ・将来の目標に向かって色々な事ががんばりたい。
- ・友達と協力しながら、充実した学生生活を送りたい

教員に期待すること

- ・日々の学習のサポートをしてほしい。
- ・授業で分かりやすく、面白いためになる話が聞きたい。授業の意欲が湧くと思うから。
- ・今はないですが、これから疑問に思うことや相談したいことがあると思いますので、その時宜しくお願い致します。
- ・看護師になりたい意思は強いですが学業が心配なのでサポートしてほしいです。
- ・人間関係を育むために必要なことを教えてほしいと感じた。

【まとめ】

〈住居〉は、今年度も自宅通学生の割合は93%と高く、保護者に対しても学生の日々の学修への支援を依頼する必要がある。

〈朝日大学への入学を決めた理由〉については、昨年度と同様に「大学病院などの実習施設が充実している」ことが高い割合を示した。次に、「大学独自の奨学金制度や大学病院の奨学金が充実している」という割合が昨年度と異なり10%以上上昇していた。今年度は、大学病院も含め奨学金があることが大学選択のポイントとなっている。2022年4月現在、岐阜県内に看護学科を有する私立大学が8大学あるものの、附属の大学病院を有することや大学および大学病院の奨学金があることは、本学に入学を決めた理由として大きいと考えられる。

「キャンパスの設備や雰囲気が良い」は16名(18%)と、昨年度より割合は低下したが、入学を決めた理由の第3位であった。また、「親から薦められた」と回答した学生は、昨年度0名に対し今年度は8名(9%)であった。その他の理由に「姉が通っている。」と記述している学生がいたことや、学生生活に関する自由記述で「設備が充実していて生活しやすい」という回答が得られたことから、オープンキャンパスや在学生からの話を通して大学の雰囲気を知り、家族も含め早期から大学を知ってもらう機会を持つことは、新入生の大学選択のポイントとなることが予想される。

その他に、今年度は、「入試科目」の割合が上昇した。文系・理系を問わず、受験しやすい入試区分と入試科目も、大学選択の理由に影響していることが考えられた。また、入学後に関する「クラブ活動が充実」「海外研修」は、昨年度と同等の割合であった。

これらのことから、今年度の新入生は、自身のキャンパスライフや実習先に対する魅力だけでなく、経済的・将来的な見通しを家族の意向も汲みながら本学を選び、充実した大学生活を送りたいと考えていることが窺える。

〈教員に期待すること〉としては、「わかりやすい授業をしてくれる」という割合が最も多く、次いで「勉強に関する質問に丁寧に答えてくれる」という結果であった。また、「臨地実習における丁寧で確かな指導」「学生生活の相談に乗ってくれる」は13%で同等であった。学修面以外でも教員のサポートを期待している。

〈看護学科での学修についての自信〉では、「大いに自信がある」「ある程度は自信がある」は24%であり、昨年度より上昇した。しかしながら「やや不安である」「とても不安である」は76%であり、学修に対する不安が強い方が多くを占めていた。学生生活に関する自由記述からも、学修に関する不安が強いことが窺える。その一方で、〈看護学科の教育内容について知っていましたか〉については、「全く知らなかった」という回答が3%、24%の学生が「あまり知らなかった」と回答していた。昨年よりやや減少したものの、看護学科の教育内容をよく理解して入学しているとは言えない学生も一定数存在している。このように感じている学生は、学修への不安を少しでも解消するために教育内容を調べる、など、自ら行動するまでには至っていないと考えられ、学修に対して受け身の状況にあると考えられる。昨年度に続き、入学前セミナーが中止となっていることから、入学した早期から大学の雰囲気に慣れ、学修方法を掴み主体的に行動することができるように、授業やオフィスアワーを通してサポートする必要がある。

〈卒業後の希望進路〉については、「具体的に考えている」「大まかな方向は考えている」と回答した新入生は81%であり昨年度より低くなった。〈保健師課程の選択〉を「強く希望する」「余裕があれば希

望する」は48%となり昨年度より上昇した一方で、「希望しない」も31%に上昇した。一方で、〈大学生活で特に力を入れたいこと〉については、「良い成績を取ること」が、昨年度より上昇し、学修意欲が高い。また、「人間関係を広げること」が昨年度より上昇し、「幅広い教養を身につけること」が低下した。「アルバイト」と回答した学生が昨年の1%から8%に上昇し、「海外研修に参加すること」「クラブ活動やサークル活動」「ボランティア活動」は、ほぼ横ばいであった。これらの結果から、本年度の新入生は、卒業を見据えて大学を選択している学生と、大学生活と学修を通して将来を選択していきたい学生が存在していると言える。

学生生活について感じていることや要望に関する自由記述では、学修についての不安と意気込み、友人関係について、大学施設の環境について、学生生活への希望や決意、教員への期待など、多岐に渡り多くの記述がみられた。本年度の新入生は、看護学科の授業や実習に対するイメージはあまり具体的ではなく不安も強いが、学修意欲が高く、学生生活に対する期待も大きく充実したものにしたいと考えている。そのために、教員の幅広いサポートも期待している。教員は、学修面での学生の不安を解消し理解を促すために、分かりやすい授業の工夫や、具体的で丁寧な実習指導を行う必要がある。また、アドバイザー制度を十分機能させ、学生生活や修学に関する個別的な支援を、入学早期から、かつ継続的に行っていくことが求められる。また、今後は感染症対策に十分配慮しながら、クラブ活動やサークル活動、朝日祭参画、ボランティア活動など、幅広く情報提供をしながら、学科・学部を越えて学生同士が交流できる機会を設けることを検討できると良い。